

香取

No.95

普及だより

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-katori/index.html>

令和7年2月1日発行

香取農業事務所 改良普及課

〒287-0003

千葉県香取市佐原イ92-11

TEL: 0478(52)9195

FAX: 0478(55)1703



巡回調査により生育や管理状況を確認



耕畜連携会議による協議・共有



粳が少なく牛が消化しやすい専用品種



専用収穫機でロールベールに調製

町ぐるみで取組む
稲WCSの生産・利用の拡大
多古町における耕畜連携の取組

多古町では水田を活用した耕畜連携の取組が行われています。耕種農家が栽培する稲を発酵粗飼料（稲WCS・稲ホールクロップサイレージ）に調製し、畜産農家が牛に与えています。

年3回の耕畜連携会議には、耕種農家、畜産農家のほか、コントラクター（収穫を担う組織）及び町役場、農業事務所が出席し、需給調整や取組実績等を協議・共有しています。また、巡回調査等により、収量・品質の向上も図っています。

平成25年に作付面積約8haから開始された取組は、令和6年にはおよそ70haとなりました。取組む耕種農家数は11戸から47戸に、利用する畜産農家数は1戸から11戸に増加しています。また、収量（ロールベール数）も向上し、取組開始当初の10a当たり7個から、令和6年には10個まで増加しています。一方、作付面積の7割を、粳が多く牛が消化しにくい主食用品種が占めています。

農業事務所は、粳が少なく高栄養で、かつ、収量も多い専用品種の拡大を推進しています。

多古町の水田裏作における 高収益作物の実証栽培

多古町の基盤整備予定2地区では、基盤整備後の高収益作物栽培を見据えて、令和5年度から実証栽培に取り組んでいます。いずれもブロッコリーとキャベツの2品目を水稲の裏作で作付けており、市場等への出荷を見込んでいます。



ほ場の栽培風景
(11月中旬)

■栽培ポイント

実証栽培にあたり、次の項目に留意して取組んでいます。栽培方法の詳細は千葉県ホームページから「水田裏作野菜の栽培技術」で検索してください。

(URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp>)

① ほ場選定

地形的及び物理的条件の両面を考慮して、地下水位が低下しやすいほ場を選定しました。

② 排水対策

表面排水を効果的に行うため、溝切機による額縁明きよの施工及び1条高畦栽培を組合せた体系を取り入れました。

③ 定植方法

近年は定植後が高湿・乾燥となりやすいため、苗は深めに定植し、根が活着するまで朝夕に適宜かん水しました。

④ 害虫及び雑草対策

生育前半は特に雑草及び害虫が多発するため、除草剤散布、適期の中耕培土(追肥)及び殺虫剤散布を行いました。

■作業機械の実演会

9月18日に施肥同時2うね成形機及び半自動野菜移植機の実演会を開催し、メーカーから機能や取扱方法について説明を受けました。実際に生産者自らも定植作業を体験して省力効果を実感するなど、関心が寄せられました。



定植機の作業体験

畑地かんがい用水の活用に向けた取組…やまといも 自動かん水システムの実証

近年、夏期の高温・乾燥が厳しく、様々な作物において収量減少や品質の低下を招いています。そのため、栽培品目によってかん水作業による収量・品質の向上が重要になります。

香取市栗源地区、多古町は県内でも有数のやまといも産地です。やまといもは夏場にかん水を行うことで根を発達させ、肥料の吸収を活発にし、収量・品質を向上させます。しかし、スプリンクラーやホースを移動しながらのかん水作業は、重労働であり、夏場の作業になるため体への負担が大きい作業です。

そこで、香取農業事務所では、かん水作業の省力化と収量・品質の向上を検証するため、香取市栗源地区で自動かん水試験を実施しました。



コントローラー



電磁弁



自動かん水の様子



試験ほ場の様子

自動かん水システムは、土壤の乾燥状態を測定するセンサーを設置し、乾燥を検知したら、設定した時間にかん水を自動で行います。センサーでは、かん水開始時刻、かん水時間、かん水期間を設定できます。ほ場に合せてかん水したい乾燥ポイントを設定し、自動でかん水を行うことができます。今年も、7月下旬から乾燥状態が続いたため、自動かん水では、7月下旬から9月上旬の間に6回のかん水を行いました。自動かん水による収量・品質については、今後の収穫調査により効果を検証していきます。

また、畑地かんがい用水の活用事例として、自動かん水試験の現地検討会を開催しました。畑地かんがい用水の更なる有効活用に向けて、今後も関係機関と連携して活動していきます。



表彰式にて

菅佐原芳夫氏が 緑白綾有功章を 受章されました

菅佐原氏の農業における長年の功績が称えられ、このたび（公社）大日本農会より緑白綾有功章を受章されました。

同氏は香取市にある「芳源マツシールーム株式会社」の代表取締役を務め、業界の第一人者として生産管理技術向上と消費拡大に尽力されています。

また、千葉県指導農業者として、後進の育成や、学校教育への協力等に取り組むほか、千葉県指導農業者会の会長も務め、千葉県農業の発展に寄与されました。ほかにも、女性の積極的な登用や、障がい者の雇用、海外での現地法人設立等、会社の社会的責任の実績には枚挙にいとまがありません。

謹んでお祝い申し上げます。

千葉県農業者 新規認証者の紹介

農業者

林 秀紀さん
(多古町)

水稲と甘藷の複合経営を行っています。直進アシスト田植え機等を活用したスマート農業に取り組みとともに、青年農業者団体さわらファーマーズクラブ副会長を務めています。

農業者

小澤 真一さん
(東庄町)

水稲と露地野菜の複合経営を行っています。高密度播種育苗技術や生育予測アプリ等を活用した効率的な農業に取り組むとともに、JAかとり青年部東庄支部副支部長を務めています。

収入保険で農業経営リスク への備えをしましょう

■農業経営収入保険の概要

収入保険は、自然災害、市場価格の低下、新型コロナウイルス感染症の影響、けがや病気で収穫不能、盗難等、経営努力では避けられない収入の減少を補償します。

農業者が自ら生産している農産物の販売収入全体を対象とし、加入申請時に青色申告を行っていれば加入できます。ただし、実績年数に応じて補償の上限に制限が設けられています。

加入申し込みは、個人の方は12月末まで、法人の方は事業年度開始の前月末までです。

保険料等には国の補助があります。また、保険金を受け取らなければ次年度の保険料が下がります。

保険金の支払いは、保険期間の確定申告の後になりますが、災害等で資金繰りが苦しい場合、無利子のつなぎ融資を受けることもできます。

保険料の試算などはお早めに

左記お問い合わせ先にご相談ください。

■制度の拡充について

令和6年度加入から次のとおり制度が拡充され、ご利用しやすくなりました。

①【青色申告1年分のみでの加入】

（例）令和8年1月より保険開始の場合は令和7年分の青色申告が必要です。

②【保険方式のみで9割まで補償する新たなタイプの新設】

加入が必須の保険方式で、これまでは最大8割補償だったところ、9割補償まで選択可能になりました。

③【基準収入算定の際、甚大な気象災害による影響を緩和する特例の新設】

被災証明の提出等の適用要件のもと、被災した年の農業収入を上方修正して算定できるようになりました。

■お問い合わせ先

千葉県農業共済組合

043（245）7447

千葉県農業共済組合香取支所

0478（58）5611

香取郡市 指導農業士活動

指導農業士とは

千葉県では、優れた農業経営を実践し、地域の農業後継者の育成・指導に熱意のある農業者を「指導農業士」として、認証しています。

指導農業士地域活動

地域内の指導農業士が属する「千葉県香取郡市指導農業士会」(会員数22名)では、研修会の開催、地域の若手後継者が参加する農業経営体育成セミナーとの連携や県立農業大学校派遣実習の受入れ等を実施しています。

若手農業者との交流

新規就農者及び農業経営体育成セミナー受講生と合同で研修を実施し、指導農業士が経営する牧場を視察しました。視察後の意見交換会では、自由闊達な意見交換が行われ、若手農業者が抱える経営上の課題等に対し、適切な助言を行いました。



新規就農者交流会
新設された牛舎の見学

地域研修会の開催

地域研修会では、山武地域の指導農業士が経営する農場及びレストラン等を視察し、多品目栽培の特徴や商品開発のアイデアなどを学びました。



レストランにて経営概要と
取り組みの説明を受ける

今後も香取郡市指導農業士会は、先進的な農業関連施設や事例を学び、青年農業者の育成等、地域農業をけん引する役割を担いながら、更なる地域農業の活性化を推進していきます。

さわらふアーマーズ クラブの活動紹介

さわらふアーマーズクラブ

(SFC)は香取地域の若手農業者組織です。さつまいも等の露地野菜や水稻等、多様な品目に取組む20〜40代の担い手が24人所属しており、会員数は年々増加しています。

SFCでは、毎月の定例会、視察研修会や懇親会等を開催しており、年間を通して様々な活動を行っています。会員同士の研鑽の場になるとともに、横のつながりを作る場にもなっています。

また、農業経営体育成セミナー生や指導農業士会を始め、他地域の若手農業者組織との交流も行っています。



種苗会社への視察研修会

今年度は、会員から提案があったSFCのホームページ作成に向けて、役割を分担して取り組みました。

また、香取郡市指導農業士会との交流会も実施したほか、農業事務所の若手職員との交流会など、関係機関との交流も行いました。

今後も地域の若手農業者が集う場として活躍が期待されます。

「農業の知識を深めたい
あなたを応援します！」
農業経営体育成セミナー

香取農業事務所では、就農した青年農業者の栽培技術・経営手法の習得とネットワークづくりを目的に3年間のセミナーを開催しています(今年度41名)。意欲ある青年農業者の皆様のご参加をお待ちしております。

▼対象

概ね45歳迄の新規就農者

▼研修期間

令和7年5月から3年間

▼お問合せ・申込み先

香取農業事務所改良普及課
0478(52)9195